

令和3年度第4回霞ヶ浦自然観察会実施結果報告

日 時：令和3年10月23日（土曜日） 午前9時30分から12時まで

テーマ：湖岸の秋の植物

講 師：福田良市（環境省希少野生動物植物保存推進員）

結 果： 前日の雨も上がり、太陽がまぶしい日となり、気温も上がって良い自然観察日和となりました。センターから坂を下りて、蓮田に囲まれた道に入り、湖岸を目指し植物観察を開始しました。講師の福田先生からアキノエノコログサとキンエノコロ、ウキクサとコウキクサ、ノゲシとオニノゲシ、その合いの子であるアイノゲシの違いを教えてくださいました。

また、観賞用に外国から入れたアサガオが野生化したマメアサガオ、アメリカアサガオ、マルバルコウも見られました。

湖岸では、白い花のシロバナサクラタデ、ピンクのきれいな色をしたサクラタデ、葉を噛むとピリッと辛い味がするヤナギタデ、茎に鋭い下向きの棘があるアキノウナギツカミなど様々なタデ科植物が観察できました。

さらに、ノイバラ、ノブドウ、ゴキヅル、ヘクソカズラの実があり、ヘクソカズラを見た参加者からは「名前と違いきれいな実」と声が上がりました。アキノキリンソウにはツマグロヒョウモンやキチョウが蜜を吸いに来ていました。

参加者からはノゲシ3種の違いを覚えたことがうれしいとの声や、また違う時期にここに来る観察会を企画してほしいとの声もありました。

参加者の皆さんは、短時間ではありますが、たくさんの植物を見ることができ、自然を満喫でき、また子供の頃遊んだ植物に巡り会って、久しぶりの自然観察会に満足したようです。

これからも湖岸の植物帯を大切に、いつもきれいな花が見られるよう保存していきたいと思いました。

観察した植物：ミゾソバ、オモダカ、ノチドメ、アゼガヤツリ、オヒシバ、カナムグラ、マ
コモ、ヒメガマ、セイタカヨシ、イシミカワ、スイカズラ、オニグルミ、ジュ
ズダマ、オオフサモ、ミズヒマワリ、キシユウスズメノヒエなど全部で96種

(腰塚昭温)

当日の様子を紹介します。



サクラタデ



アキノキリンソウに来たツマグロヒョウモン



ゴキヅル



ノイバラ